

# 国連地球生きもの会議 COP10

10月18日から29日 名古屋国際会議場に於いて

## 生物の危機、世界へ発信

この会議で世界の人々が上関田ノ浦の生物多様性の危機を知りました。COP10の本会議で発表され、この貴重な海を保護する意見に盛大な拍手が湧き起こったといえます。

各分野、各立場からのこの会議への声明が私達の知らないところから続々と寄せられたことに驚かされました。

〈主な団体を紹介します。〉

- 広島―上関リンク 500団体が賛同 インターナショナル・ヘラルド・トリビューン紙、ザ・ジャパン・タイムズ紙へCOP10出席者に向けての意見広告掲載 「命の海を守りたい」
- 広島―上関リンク 連帯する海外45団体、国内270と国際共同声明 「海上埋立」「海水温上昇」「地震災害のリスク」
- 上関原発中止を求めるジャーナリスト・言論文化人の会 上関で映画を撮った山田洋次監督、ジャーナリスト、歌手、評論家、学者、政治家等400名がたった一日の呼びかけで賛同 「自然と未来を破壊する田ノ浦の埋立を中止するように求める」

● NGO「JUCCON」呼びかけ70団体と個人が賛同 「開催国、日本の開発行為に対するNGOの共同宣言」

● WWFジャパン(環境保全団体・世界自然保護基金) 「地球の生物多様性を守ろうとする国際条約を踏みにじるものだ」

● 生きもの会議国内外NGO 生物多様性条約市民ネットワーク 「地域住民の生活や海洋環境に破壊的な影響をもたらす」

● 全国保険医団体連合会(10万3千人) 上関原発建設中止要請へ決議文採択 「近くを活断層が複雑に走り、対岸の祝島住民の避難経路も確保できていない」

● エントロピー学会(ENTROPY) 全国シンポジウム

● 日本生態学会 「瀬戸内海最後の楽園」

● 日本鳥学会 「カンムリウミスズメは保護すべき日本固有の種」

● ベントス学会 「生きた化石ナメクジウオを守れ」

● NGOCSO(生物多様性条約市民ネットワーク) 声明 「母なる地球は売り物ではありません。現在と将来世代の人類の尊厳と福利を守るために行動する道徳的、法的義務があります。」

## 瀬戸内海を守れ!!